
「頸髄損傷患者における足底反射の変化と予後の機能回復との関連性」に関する

お知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1．研究の対象となる方

2021年4月1日から2024年6月30までの高度救命救急センター1階救命ICU病棟に入院し、頸髄損傷と診断され、American Spinal Injury Association（以下ASIA分類）にて、ASIA:A又はBの患者を対象としております。

2．研究の目的

頸髄損傷の急性期領域における足底反射と神経機能との関連性が明らかとなれば、搬入時の足底反射や手術前後の足底反射の変化が神経機能の回復の指標となる可能性があります。神経機能の回復の予後予測を踏まえて、他職種（理学療法士等）との連携体制を構築し、早期離床やリハビリによって患者さんの日常生活向上や社会復帰に貢献できると考えています。

そこで本研究では、急性期における足底反射の変化と機能回復との関連性を明らかにすることとしました。

3．研究期間

病院長の許可後～2026年3月31日

4．利用または提供の開始予定日

2025年6月5日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1．試料・情報の内容

患者さんの年齢、性別、損傷部位、入院日、手術日、鎮静期間、転棟日、既往歴、神経症状の有無・程度（知覚・痺れ・疼痛）、足底反射の有無、搬入時から手術入室までの時間

この研究で得られた患者さんの情報は【埼玉医科大学総合医療センターGICU】において、研究責任者である荒巻勝人が、個人を特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2．試料・情報の取得方法

頸髄損傷と診断された患者の治療を実施した際の診療記録等を用います。

3．試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・埼玉医科大学総合医療センター GICU 保健師 荒巻 勝人（研究責任者）
- ・埼玉医科大学総合医療センター ICU 看護師 海野 智也
- ・埼玉医科大学総合医療センター ICU 看護師 高橋 誠一
- ・埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター教授 井口 浩一

4．試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター GICU 保健師 荒巻 勝人

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

電話：049-228-3526（土日祝日を除く 9：00～17：00）

○研究課題名：頸髄損傷患者における足底反射の変化と予後の機能回復との関連性

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター GICU 保健師 荒巻 勝人